

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary
一宮RC



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858

ロータリーのマジック

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp



2025年2月20日 第3625回例会



会 長 佐々木久直 会長エレクト 山上 哲 司
副 会 長 森 克彦 副 幹 事 大 鹿 晃 裕
幹 事 鶴 飼 雅 弘 会 報 委 員 長 浅 野 一

プログラム

市川 真氏
(中日新聞一宮総局長)
テーマ「紀伊半島 滝めぐり」

ロータリーソング「それでこそロータリー」
第3624回例会の記録
2025年2月6日(木)

会長挨拶

佐々木久直

今季最大の寒波が訪れお寒い中、今日も例会にご出席いただき誠にありがとうございます。

今週の3日(月)に東急ホテルにて開催された「ポール・ハリス・ソサエティ晩餐会」に出席いたしました。第2760地区では現在97名のポール・ハリス・ソサエティが登録されています。あと3名で100名に到達するので、吉川ガバナーの任期中に達成したいとの事でした。本日の財団卓話ですが、今年度から各クラブの財団委員長が財団卓話をする事となりました。山口財団委員長、宜しくお願いします。

また、4日(火)は名古屋観光ホテルにて開催された名古屋ロータリークラブの「創立百周年記念式典」に鶴飼幹事と出席いたしました。翌々週となりますが次回の2月20日例会の会長挨拶にて少しご紹介させていただきます。

今月は「平和構築と紛争予防」月間となっております。今月のロータリーの友に、懐かしいですがスタートレックに出演されていた日系アメリカ人のジョージ・武井さんの記事が掲載されています。エピソードのコラムやQRコードから第2次世界大戦時の日系人のおかれた状況について知ることができますので、是非ご覧ください。

幹事報告で後ほど鶴飼幹事から報告がありますが、4月17日の大阪・関西万博の春の親睦家族会や、5月29日の職場例会の伊勢神宮参拝など早朝の集合となっておりますが、是非ともご参加いただけますようお願い申し上げます。

次回の予定

卓話

木村 公一氏(自称ツアーアマ)

テーマ「ゴルフバカ日誌」主人公は俺だ!

下道と車中泊で全国ゴルフ場完全制覇挑戦中!

ただいま1116

理事会報告

鶴飼雅弘

* 報告事項 *

- ☆ 2月度のプログラムは週報掲載
- ☆ 1月度のニコボックス 36,000 円
- ☆ 1月度のドリンクニコボックスは 3,128 円
- ☆ ロータリーレート2月から154円(現行157円)

* 協議事項 * 以下の項目を承認

- ☆ 新年家族例会決算
- ☆ 春の親睦家族会4月17日(木)例会変更
- ☆ 職場例会伊勢神宮正式参拝5月29日例会変更
- ☆ 第2回クラブ国際奉仕委員長会議1名登録
- ☆ 第2回クラブ青少年奉仕関連委員長会議3名登録
- ☆ 2025-26年度地区研修・協議会 登録
- ☆ 市民と企業の協働フェスタ後援名義使用
- ☆ 2月末引き落とし
1月25日(土) 新年家族例会登録料
- ☆ 75周年記念品(ゴルフボール)の作成説明

ロータリーの友2月号

永井一人

今月のテーマは「平和構築と紛争予防月間」です。また23日はロータリー創立記念日です。

表紙は、東京都渋谷区の「くるるえびす」(渋谷区による障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス「生活介護」事業)の皆さんが制作された、バレンタインのプレゼントボックスです。

横組みは、特集として8頁から17頁まで、『差別、闘い、そして未来への夢』と題して、ジョージ・武井さん(米テレビドラマ「スタートレック」でヒカル・スール役を演じた日系アメリカ人)のインタビューが掲載されています。彼は1937年に米国で生まれましたが、1941年の日米開戦により5歳のときに在留邦人・日系人を対象とした大統領令によってアーカンソー州ローワーの強制収容所に収容されました。この時の大変過酷な体験をもとに、戦後は俳優、語り部、執筆活動等を通じて収容所体験を語り継いでいます。また、人権活動家としても人種差別に関する活動や、LGBTQへの偏見に対抗するための積極的な活動を進めているという記事内容となっております。

縦組みは、4頁から8頁にかけて、国際ロータリーIMにおいてNHKの渡辺孝氏による「言葉を守る テレビディレクターの考える戦争」特別講演要旨が掲載されています。渡辺さんは、戦争に関するドキュメンタリーを中心とした番組を制作されておりますが、7頁上段から中段に、生還した特攻隊員を次の出撃まで収容していた「振武(じんぶ)寮」に関する番組制作について語られています。そこに「特攻隊マニュアル」の写真が掲載されており、その一部として「衝突の瞬間には目を閉じていて目標に逃げられてはならない」などと紹介されています。当時の軍の状況、特攻隊員ご本人達の心情など、

個人的にどう受け止めたら良いのか正直迷ってしまう部分も多々ありますが、よろしければぜひご一読ください。

委員会報告

ニコボックス

佐藤博之

☆ 高木道久君

先の新春家族例会では会長賞を有難うございました。セラーに飾っています。週回遅れの御礼となり、申し訳ございません。

☆ 加藤 亘君

本日の例会にリリーを迎える喜びで。

☆ 山口雅志君

本日卓話をさせていただきます、ロータリー財団委員長の山口です。初の卓話で緊張しておりますが、私なりに財団の勉強をしてみましたことをお伝えできればと思います。よろしくお祈りします。

☆ 富田隆裕君

来月3月16日日曜日の14時からと16時から、アパホテル2階宴会場で、地元一宮出身の若手マジシャン鶴飼太士(うかいたいし)によるマジックショーが行われる喜びで。当日はケーキとコーヒーがつかます。皆様ぜひお越し下さい！

☆ 佐々木久直君 鶴飼雅弘君

本日は青少年交換受入学生のエリザベスさんをお迎えします。ようこそお越し下さいました。本日はロータリー財団委員長の山口雅志さんにロータリー財団についての卓話をいただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

出席報告

現在の会員数 111名
 本日の出席数 70名
 前々回の出席率 100%

***** プログラム *****

山口雅志君

(ロータリー財団委員長)

テーマ「ロータリー財団を学ぼう」



本来、11月がロータリー財団月間ですが、今年度は75周年記念行事などがあり、本日「ロータリー財団を学ぼう」というタイトルで国際ロータリーのロータリー財団についてお話をさせていただきます。

国際ロータリーは、私達の会費で運営されています。ロータリー財団は、私達からの寄付のみで、運営・活動がなされています。

ロータリー財団には、世界中の地域社会に奉仕してきた100年以上の歴史があります。支援を必要とする人々のために、私達からの寄付が欠かせません。

2023-24年度 地区寄付実績

年次基金	お一人あたり	154.73ドル
ポリオプラス	お一人あたり	45.84ドル
恒久基金	1クラブ 1,000ドル以上	30クラブ

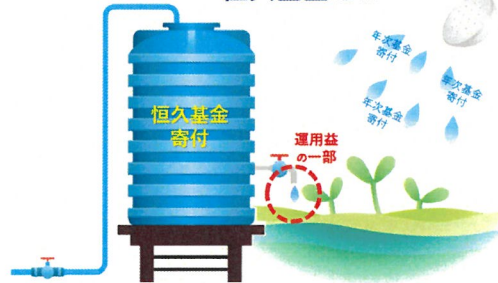
昨年度の地区の寄付実績です。年次基金、ポリオプラス基金は目標達成ができました。

2023-24年度 当クラブ寄付実績

年次基金	お一人あたり	151.30ドル
ポリオプラス	お一人あたり	33.81ドル
恒久基金	クラブ	1,100.00ドル

こちらは当クラブの昨年度の寄付実績です。いずれも地区目標を達成することができました。

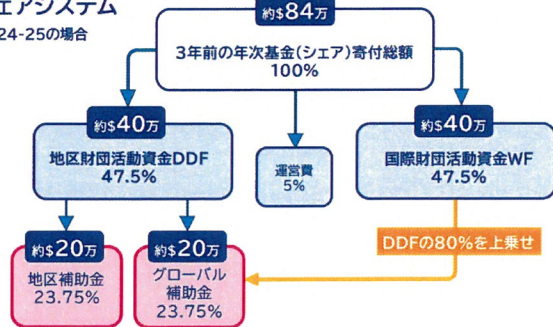
恒久基金とは



草花を育てるときに、『毎日与える水』が年次基金寄付としたら、いざという時に活用するために『貯めておく水』が恒久基金寄付です。恒久基金は投資され、元金が支出されることなく、利用可能な収益の一部がロータリー財団のプログラムを支えるというものです。2013-14年度以降、投資収益率はおよそ6%ほどとなり、恒久基金への寄付は、継続的に資金を提供できるだけでなく、時の経過とともにさらに多くの資金を提供できるようになる可能性を秘めています。

シェアシステム

2024-25の場合



わたしたちが行った寄付は、すべてロータリー財団本部で管理されますが、この寄付金を、どのように奉仕活動に活かすのか、と言うと、シェアシステムというスキームによって、世界中で活用できるようになっています。財源は3年前の年次基金寄付と、恒久基金の運用益の一部です。公平に透明性をもって有意義に活用するためのシステムです。寄付したお金が「戻ってくる」のではなく、「使う権利がある」と理解することが大切です。